



# 凸版印刷株式会社

若 園 和 昭\*

## 1. 会社のあらまし

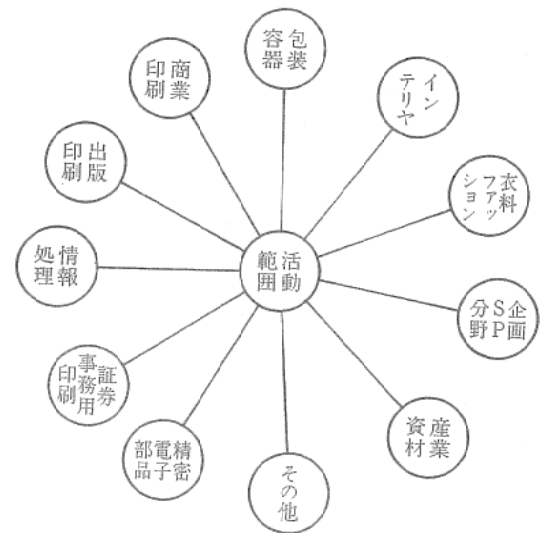
社 名 凸版印刷株式会社  
 創 立 明治33年  
 代 表 者 取締役社長 鈴木和夫  
 資 本 金 約205,74百万円 (昭和57年5月現在)  
 売 上 高 約4,476億円  
           (昭和57年度5月期見込み)  
 従業員数 8,200 名  
 事業所数 営業所 (国内 67 海外 7)  
           工 場 (国内 20 海外 4)

## 2. 業務のあらまし

私共の会社は、印刷を中心にして、社会にお手伝いの出来る範囲は、一段と大きい広がりをも

もちつつあります。(下図)

まさに“拡刷印”姿勢による印刷の可能性追



凸版印刷株式会社関西支社

\* 若園和昭 (Kazuaki Wakazono), 凸版印刷株式会社関西支社, 支社技術, 技術部長, 応用化学

求の結果と言えます。

精密電子、コンピューター情報処理、産業用資材などは比較的新しい分野に入りますが、新分野、従来分野を問わず、私共はより適確な作業を通じすべてに亘って良質な製品とサービスの提供を心懸けております。

ご依頼の仕事に対しまして私共は、関連する部門の機能をフルに活用、総合的に仕事をさせて頂いております。

i) 企画活動

私共はお得意様の売上げの増進のお手伝いの為に印刷を生かした企画活動を進めております。その結果、トツパンアイディアセンターを中心とする企画提供活動は、一層厚みと柔軟性が加わり、お得意様の間で「とりあえずトツパンに相談してみよう」とされる所が日まじりに増えております。

ii) 生産活動

より品質の高い製品をお届けするため、常に生産技術の革新をはかり、その成果を高めております。

“よりよい製品は、より高度な技術、設備から”——私共は、製版、印刷、加工のすべてに亘り技術の革新を進めています。こうした“技術追求”の姿勢は、幾つかの開発技術成果としてお得意様より高い評価を頂き信頼を生み出す一つの大きい要素となっております。

イ) 製版ブロック

エレクトロニクスによる新鋭のシステムを稼動

①文字製版では、コンピューター漢字情報処理システムを開発、文字情報の高速度化高品質化を達成

②絵柄製版では、画像を数値化することに成功し、各種高性能製版システムを導入

③我が社独自の製版法トツパン® THグラフィアプロセスを開発し、諸外国の有名印刷会社に技術輸出がはかられております。

ロ) 印刷及び加工のブロック

この方面でも凡ゆる新鋭機を揃え、大量のものから、どんな少量のものになるまで、私どもは、お引受けする仕事の特性に応じ

て、最適な製造体制を組むことが出来ます。大量高速を要求される印刷物には大規模輪転印刷機や、自動丁合機、自動高速製本機が、また包材の分野では、軟包装材用グラビヤ輪転印刷機や、紙器の印刷から打抜きまで行う一貫製造機、紙カップやチューブ、プラスチックボトルの印刷製造機などが活躍しております。

良質な製品を作るには、生産環境も万全でなければなりません。私共では各部署でクリーンルームやエアシャワーを設置、環境のクリーン化を図っています。特に食品包装材部門ではより高度な衛生化を徹底しております。

一方工場外部への配慮としては、地域環境保護という立場から、工場敷地内の緑化や、排水の浄化につとめ、地元のみなさまにご迷惑をおかけしないよう努力をしております。

### 3. 製品のごあんない

#### —商業印刷部門—(Sales Promotion Materials)

企業間の販売競争激化に伴い、広告宣伝物や販売促進物の重要性はますます高まっております。私共で長年の経験を生かして、カタログ、パンフレット、カレンダー、POPなど製作、更に印刷技術を駆使してギフト、プレミアムの人気商品を開発するなど、お得意様と消費者の間をつなぐ様々な活動のお手伝いをしています。

#### —出版印刷部門—(Books and Magazines)

“より早く、より正確に”を信条に、あらゆる出版・報道印刷物の生産に当るほか、出版販売キャンペーンのお手伝いも行っています。最近では出版企画を提案させて頂く機会も多くなりました。教育機材や機器の開発も進めており、業務領域の広がりを増しております。

#### —包装材部門—(Packaging)

パッケージは、その商品の売り上げを左右する大事な役割りになっております。軟包装材から紙器、プラスチックボトル、チューブ、ラベルに至るまで、私共ではあらゆるパッケージとその関連製品をお届けしております。製品によ

ってはお得意様の工場の生産条件に合った充填システムごと提供することが出来ます。

—建装材部門—(Interior Decor Materials)

壁材、床材、家具材などの建装材も、優れた印刷技術から作り出され、今や、印刷を抜きにしてインテリアを語るが出来ない程印刷物によるインテリア製品は暮しに広く行きまっています。私共では国内はもとより、世界各国のお得意様に、素材、柄とも高品質な製品をお届けしております。

—布地印刷部門—(Cloth Printing)

水を使わない、従って水質汚染のない昇華捺染方式によるトツパン®プリンテックスは、どのような調子の絵柄も忠実に再現出来、今迄の捺染では得られない数多くの利点を備えているのが特徴。衣料ファッションは勿論のこと、インテリアや雑貨製品に多く利用されています。

—証券印刷部門—(Securities and Business Forms)

長年の伝統と、それによって培われた信用を背景に、各種有価証券や通帳、伝票及びその関連製品の製造にあたり、お得意様から絶大の信頼を頂いている部門です。磁気カード、無人改札用定期券に見られるように、磁気印刷技術の利用範囲もどんどん広がっております。

—精密電子部門—(Precision Parts and Components)

印刷技術を利用して私共は、集積回路用フォ

トマスク、高級多層プリント基板を含む数多くの精密電子部品、それに電気部品などの製造にも当っており“拡印刷”の姿勢が端的に示されている分野でもあります。

—コンピューター情報処理機能—

(Computerized Data Processing)

コンピューターは、情報化社会推進のためのまさに原動力。日頃情報の伝達・処理にたづなわれる私共としては、このコンピューターによる「情報処理分野をいかに拓き、どうお得意様の為に役立っているか」がひとつの課題でもあります。

コンピューター漢字情報処理システムや POS (Point of sales) の対策、コンピューター利用の各種事務合理化のお手伝い出来る体制が出来上っております。

4. む す び

企業にとっては、イノベーションなくして、生きられぬ時代です。狭義の技術革新ということだけではなく、生産組織の見直しや革新、新資源の獲得、新市場の開拓など、それぞれの分野に於いてのイノベーションが企業存立の不可欠要件と言われておりますが、我が社は、総合印刷企業として世界的な実力を備えております。国際化の時代、変化の時代にあって、次々と起こるイノベーションの波を乗り越えております。